



たてべだより



編集：発行：建部地区まちづくり協議会・建部コミュニティセンター

Tel・FAX：22-0303 IP：5801-0303

Mail：tatebe-machikyo@e-omi.ne.jp

第6号

令和3年9月号



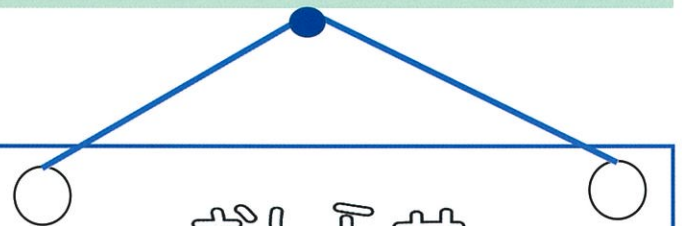
建部地区町民祭中止のお知らせ

未だ収束の見通しが立っていない新型コロナウイルス感染の現在の状況を考慮し、役員で協議した結果、今年度開催予定の第49回建部地区町民祭を中止する事を決定されましたので、お知らせいたします。

昨年に引き続き、建部地区の町民祭を楽しみにしていただいた皆様には大変申し訳ございませんが、ご来場者の皆様の安全を考慮しての決定となりますので、何卒ご理解いただけます様お願い申し上げます。



コミセン出入口に自動販売機を設置しました。
利用者の皆様や住民の皆様に広く利用していただけたら幸いです。



- ☆ たてベロコモ健康教室は 10/1~5回に変更となります。
- ☆ 10/22（金）19：00～自治会長会
- ☆ 11/27（土）大型（金属製）資源回収

（詳しくは次月チラシにてお知らせします。）



建部チャリティーゴルフ大会 参加者募集



吹く風もどことなく秋めいてまいりました。

コロナ禍で建部地区の事業も何かと制限されていますが、住民の健康づくりと交流を図り、活力あるまちづくりに寄与するため建部チャリティーゴルフ大会を開催します。

さわやかな秋晴れの下、皆さまとより一層、親睦を深めたいと願っています。
多数のご参加をお待ちしています。

【開催日】令和3年10月19日（火）

【主催】建部地区まちづくり協議会・建部地区スポーツ協会

【後援】建部コミュニティター

【協賛】リバーサイドジャンボゴルフ

【会場】名神竜王カントリークラブ

【会費】12,000円プレー費(セルフ)昼食・景品・チャリティー金すべて含みます。

【支援金】チャリティー金は、建部地区社会福祉協議会に寄付いたします。

【締切り】10月8日（金）建部コミュニティターまでお申込みください。

※詳細については、後日参加者にご連絡いたします。



民児協だより

今回この民児協にたずさわらせてもらい、研修にも参加させて頂き気付く事も多く、たくさんの事を学ばせて頂きました。

そんな中、世間では、なかなかコロナが終息せず、私たちの生活も徐々に変化しつつ、不安と共に生活する日々がまだまだ続いています。

そんな状況でも、地域のみなさんが住みやすい町づくりのために私たち民児協がみなさんの声に耳を傾け、笑顔で生活できるよう力になれたらと思うばかりです。

みなさん、お困りの事や不安に思うことなど何でもけっこうです。

お気軽にご相談ください。



クラフトテープを使って

秋色のかばんを作しましょう

【日 時】 10月5日 (火) 13:00~16:00

10月15日 (金) 13:00~16:00

【場 所】 建部コミュニティセンター

【定 員】 各日とも5名(定員になり次第締め切ります)

【持ち物】 洗濯ハサミ・はさみ・メジャー・定規

【材料費】 1000円 (受講料含む)

※電話申し込み可

※建部地区在住の方に限ります。

(作品見本はコミセンにあります)



※講座については、コロナウイルス感染状況により中止または延期になる場合がありますので了承下さい。

寄来処「よっこらしょ」

学びの講座は9月・10月の開催は見合わせます。

講座募集については、建部だよりにて募集を行います。

瓦屋禅寺の参道(石段)を歩く

来年は聖徳太子没後 1400 年の記念すべき年となります。東近江が「聖徳太子文化」が日本一濃い地域といわれており、令和3年10月から令和5年末にかけ、聖徳太子ゆかりの社寺を中心にさまざまなイベントが開催されます。

瓦屋禅寺は、聖徳太子が大阪の四天王寺を建立する際、約10万枚の瓦を箕作山系で焼いたといわれ、寺名の由来となっています。瓦屋禅寺では、記念事業として令和5年10月から12月にかけ秘仏の聖徳太子御作の千手観音像（国重要文化財）がご開帳されます。

今回は、瓦屋禅寺の参道（石段）を歩いてみました。登りやすい参道ですので、ご家族やお友達と一度歩いてみませんか。秋は紅葉が美しく瓦屋禅寺が最も輝く季節です。

【参道】

瓦屋禅寺は箕作山の中腹に建つ山寺です。お寺までは麓の瓦屋寺町から約1100段の石段の参道が延びています。

大変な段数ですが、歩幅に合った石段で、以外と登りやすく、ほどなく庫裏の大きな屋根が見えてきます。

参道の途中には聖徳太子の腰掛石があり、太子とこの寺の関係を語りかけています。参道の横には清流が流れており、流れは里に降り、田に入ります。箕作山が水源の山であることを実感させます。

【参道の石垣】

瓦屋禅寺は大変に栄えたお寺で、数多くの坊舎が立ち並んでいました。その事を物語るように参道沿いに石垣で護岸された平場が雛壇のように残されています。

これらの石垣は箕作山の湖東流紋岩を使って築かれています。

参道や坊の敷地を開削した時に参道や坊の敷地を造った時に出てきた石をそのまま使ったと思われます。

石を加工しない「野面積（のづらづみ）」で積まれた石垣は、苔むし、周囲の自然に溶け込みながらも、このお寺の辿ってきた歴史を語りかけてくれます。

【磐座（いわくら）】

瓦屋禅寺が建つ箕作山は磐（いわ）の山です。特にお寺から山頂にかけては至る所に巨岩が露出しています。この様な巨岩は神様が宿る座（磐座）として、信仰の対象になってきました。

特に、参道沿いに屹立する巨岩は、古くから信仰の対象となっていたようで、周辺から多くの祀りの遺物が出土しました。

この様な磐座はお寺の周りにたくさんあります。これらの巨岩は瓦屋禅寺の前身が、自然の中に宿る神様に対する祈りの場であったことを物語っています。



写真上から、参道、腰掛岩、石垣、磐座